

科目ナンバー： BA1052

授業コード： 2210100500

講義科目名称： 教育学

英文科目名称： Pedagogy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2学年	2単位	選択必修
担当教員			
◎大前敦巳			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期 【授業時間】 30時間 【担当教員】 【氏名】 ◎大前 敦巳 【所属】 上越教育大学 【研究室】 【本学の科目区分】 教養科目 【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程 【DP1】【DP2】【DP3】【DP4】【DP5】【DP6】【DP7】 ◎
------	--

到達目標	1. 教育の基本原理と歴史についての知識を獲得し、理解を深めることができる。 2. フランスの教育における人権思想と共和国理念を理解し、日本の教育と比較を行うことができる。 3. 現代の生涯学習社会、汎用的な資質・能力（コンピテンシー）、学びに向かう力（エージェンシー）の育成など、教育の国際的展開を理解し、これからのグローバル社会における教育のあり方について考えることができる。
------	--

授業概要	この授業では、教育と福祉・保健との対比から〈教える-学ぶ〉といった行為や活動の諸原理、その思想や歴史にまで迫りながら、今日のグローバルな国際的環境の中で私たちの「教育」をめぐる課題や問題について考える。国連・ユネスコやOECDなどの国際機関が提唱する新しい教育理念が、日本のみならず世界各国の教育に及ぼしている影響を理解する。
------	---

授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：イントロダクション 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 事前学修：教育学について関心のある情報を集めてみる。 事後学修：「哲学する子どもたち」について考えたことをまとめてみる。 備考： 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：教育の理念：福祉・保健との対比 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 事前学修：教育と福祉・保健の違いについて情報を集めてみる。 事後学修：〈教える-学ぶ〉の教育的関係から福祉・保健の違いについて考えてみる。 備考： 3 授業内容 授業形態：対面 学習課題：〈近代教育〉の誕生 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 事前学修：「子ども観」についての情報を集めてみる。 事後学修：国連子どもの権利条約とこども基本法について考えたことをまとめてみる。 備考： 4 授業内容 授業形態：対面 学習課題：西洋の教育思想の歴史 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 事前学修：西洋の教育思想についての情報を集めてみる。 事後学修：近代以降の子どもを保護する教育思想について考えたことをまとめてみる。 備考： 5 授業内容 授業形態：対面
------	--

	学習課題：日本の教育思想の歴史 学習内容：教育とは何かという視点から近代の学校教育の諸問題を考える。また、西洋と日本における教育思想史を振り返り、近代学校のもつ様々な教育の目的について検討する。 事前学修：日本の教育思想についての情報を集めてみる。 事後学修：明治期以降の近代学校教育と看護師養成について考えたことをまとめる。 備考：
6	授業内容 授業形態：対面 学習課題：フランスにおける教育の理念 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 事前学修：フランスの教育についての情報を集めてみる。 事後学修：日本の首相官邸・文部科学省、フランスの大統領府・国民教育省のホームページを比較して考えたことをまとめる。 備考：
7	授業内容 授業形態：対面 学習課題：学校体系と人間形成の比較 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 事前学修：フランスの学校制度についての情報を集めてみる。 事後学修：フランスの複線型・課程主義・資格社会・出口管理の学校教育制度について日本との違いを考えてみる。 備考：
8	授業内容 授業形態：対面 学習課題：教育を受ける権利と義務 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 フランスの学校と家庭での過ごし方について情報を集めてみる。 フランスの「公私峻別」の原則に基づく学校教育の特徴について考えてみる。 備考：
9	授業内容 授業形態：対面 学習課題：学力格差は正に向けた取り組み 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 事前学修：フランスの教育格差について情報を集めてみる。 事後学修：ルマンとパリの学力格差是正策について考えたことをまとめる。 備考：
10	授業内容 授業形態：対面 学習課題：移民と文化の多様性 学習内容：フランスの教育との比較から、学校体系、教育理念、学力問題などにおいて、日本の教育との違いを考えるとともに、今日のグローバル化の中で、両国に共通する教育の問題を導き出す。 事前学修：フランスの移民と文化の多様性について情報を集めてみる。 事後学修：OECD-PISA国際学力到達度調査から日本と世界の教育課題を考えてみる。 備考：
11	授業内容 授業形態：対面 学習課題：ユネスコにおける生涯学習理念 学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、コンピテンシー、エージェンシーなどの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。 事前学修：ユネスコの生涯学習について情報を集めてみる。 事後学修：フォール報告の〈持つ〉様式と〈ある〉様式の違いについて考えてみる。 備考：
12	授業内容 授業形態：対面 学習課題：国連におけるESD、SDGsの展開 学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、コンピテンシー、エージェンシーなどの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。 事前学修：国連のESD、SDGsについて情報を集めてみる。 事後学修：ユネスコスクールにおける教育実践の展開について考えたことをまとめる。 備考：
13	授業内容 授業形態：対面 学習課題：OECDのキー・コンピテンシー 学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、コンピテンシー、エージェンシーなどの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。 事前学修：OECDのコンピテンシーの概念について情報を集めてみる。 事後学修：コンピテンシーの概念が日本の学習指導要領の資質・能力育成にどのように反映されているか考えてみる。 備考：

	14 授業内容 授業形態：対面 学習課題：グローバル化の中の教育課題 学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、コンピテンシー、エージェンシーなどの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。 事前学修：国際社会の中の教育や看護の課題について情報を集めてみる。 事後学修：学びに向かう力としてのエージェンシーの意義について考えてみる。 備考： 15 授業内容 授業形態：対面 学習課題：これからの教育に向けて 学習内容：戦後、ユネスコ、OECDなどの国際機関で提唱された生涯学習、ESD、SDGs、コンピテンシー、エージェンシーなどの新しい教育理念を説明し、これからの社会における教育のあり方を議論する。 事前学修：こども家庭庁における教育支援について情報を集めてみる。 事後学修：教育ネットワークと「学び習慣」を形成する意義について考えてみる。 備考：
評価方法、評価基準	毎回のワークシート提出40%：各回の出席と学習課題についての理解度を評価する。計15回実施。 期末レポート60%：期末総合評価として、本講義全体の到達目標の達成度を最終的に評価する。
必携図書	教科書は特に指定しない。
参考図書・資料等	レジュメを配付して授業を進める。参考文献・資料については授業のなかで適宜紹介するが、以下の参考図書を挙げておくので、事前・事後学習として読んでいただきたい。 アンドレアス・シュライヒャー著，経済協力開発機構(OECD)編，鈴木寛・秋田喜代美監訳，『教育のワールドクラスー21世紀の学校システムをつくる』，明石書店，2019年 木村元編，『系統看護学講座基礎分野 教育学』（第8版），医学書院，2021年 今井康雄編，『教育思想史』，有斐閣アルマ，2009年 二宮皓編，『世界の学校ーグローバル化する教育と学校生活のリアル』，学事出版，2023年 秋田喜代美・松田恵示監修，『教育におけるエージェンシーの概念と実践』，書肆クラルテ，2025年
受講、課題、資料配布等のルール	受講のルール等についての詳細は、初回の講義にてアナウンスする。毎回、講義内容について考えたことをワークシートに記述し、それをもとに発表とディスカッションを行う。【参考図書・資料等】に示した参考図書を事前に図書館で手に取って見ていただき、本講義の内容についてあらかじめ情報を集めておいてほしい。
教員からのメッセージ	「教育学」という学問は、現代社会においてはwell-beingの確立など、看護・保健・福祉の分野とも深く結びついています。今日のグローバルな発展にいたる教育の成り立ちを理解し、皆さんの将来の人生に活かしてください。
オフィスアワー	—